

6. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ

敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで、29 コースの公開研修を計画しています。以下は申込み期限が近づいている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細、応募方法は、QR コード※または下記 URL から当社ホームページをご覧ください。

なお、当面の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、福井県以外の地域からの受講申込みをお断りしています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

<http://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html>

※QR コードは(株)デンソーウェブの登録商標です



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください



敦賀総合研修センター

研修名	研修概要	研修期間	申込期限
ヒューマンファクターコース	人間の特性を知り、仕事の中でのエラーを防ぐ対策を講じることが大事です。本研修ではヒューマンファクターの基礎知識(人間の基本特性や集団特性など)を理解するとともに、現場作業時のヒューマンエラーの防止方を学びます。 誰もが起こす可能性があるヒューマンエラーの防止方を学ぶことはとても有益です。広く一般の方にもお薦めします。 2日間コースですが、1日単位の受講も可能です。	7月26日(基礎) ・ 27日(管理・事例)	6月16日
クリアランス入門コース※	原子炉施設の廃止措置などに伴い「放射性廃棄物として扱う必要のないもの(クリアランス)」が多く発生します。それらの概念やクリアランス測定方法などクリアランスに関する基本的な知識を学びます。	7月30日	6月18日
原子炉施設廃止措置コース※	廃止措置の概要や法制度とともに、廃止措置の基礎となる放射能評価、廃棄物の処理・処分や解体撤去技術など、廃止措置の先行例を含め廃止措置全般について学びます。	8月12,13日(2日間)	7月2日
原子炉施設廃止措置工事学習コース※	原子力発電所構内において、廃止措置工事に初めて従事するうえで必要となる発電所ルールの概要、技量や手法、工事要領検討について講義と実習により学びます。	8月17,18日(1.5日間)	7月8日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、これらのコースは当面の間、発電所見学を中止する場合があります。なお、発電所見学の可否につきましては、ホームページを随時更新してまいります。

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター(敦賀市沓見165号9番地6)
電話: 0770-21-9700 FAX: 0770-21-9726(応募申込専用)
メールアドレス: tsuruga-tr-center@japc.co.jp

げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ



◀こちらから げんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

◆My Tiny Quilt 第3回Viva☆Quilt パッチワーク教室作品展

6月1日(火)～6日(日) 最終日は15:30まで

Viva☆Quilt パッチワーク教室(代表: 上田 佳恵 様)の9名の皆さまによる作品展です。ポーチや干支人形など身近に飾れる小さいキルト作品を中心に、個性の光る作品75点を展示中です。

◆井加田 博個展 存在を描く 6月29日(火)～7月4日(日)

当ギャラリーでは4回目の井加田 博 様による絵画作品展です。犬や猫、原画から学んだ花、人物などを緻密に描き込んだ作品20点を展示予定です。



◆「わたしたちのデイリースタイル No.22」-エコクラフト・ビーズ・レザー-

7月6日(火)～11日(日)

ビーズ工房(代表: 田中 喜美枝 様)の皆さまによるエコクラフト、ビーズ、レザーの作品展です。クラフトテープ、レザーを使ったバッグや小物、ビーズのピアスやネックレスなど200点を展示予定です。

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 10:00～16:30※ 休館日 12月29日～1月3日

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。

<http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/index.html>



感染防止徹底宣言ステッカー

本資料の作成元・お問合せ先: 日本原子力発電株式会社(略称: げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部

TEL: 0770-25-5713 住所: 敦賀市本町2-9-16



げんでん いんふおめーしょん 6月号

2021年6月1日

No.202

1. 敦賀発電所の状況(2021年6月1日現在)

プラント(炉型)	状況
1号機(沸騰水型)	●2017年5月15日より廃止措置工実施中(廃止措置期間: 24年) ○2015年4月 営業運転終了 ○第4回定期事業者検査中(2021年4月1日～7月下旬予定) ○補助ボイラーおよびコールドエバポレーター解体工事中(2021年2月22日～) ○タービン補機冷却系熱交換器他解体工事中(2021年2月22日～) 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2号機(加圧水型)	電気出力116.0万kW、1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量1922億9908.3万kWh ●2011年8月29日～ 第18回定期検査中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 ○2015年11月5日に新規規制基準への適合性確認審査のための申請を行い、現在審査対応中です。対応状況は、以下をご覧ください。 = 敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について = 原子力規制委員会による審査は、敷地内破砕帯評価と地震動評価(地震の揺れ)の二つの論点について並行して進められています。 昨年2月の審査会合で、敷地内破砕帯評価に関して、発電所敷地北側にある断層(K断層)と2号機原子炉建屋直下にある破砕帯との関連性について当社から説明いたしましたが、当初審査資料に記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し、詳細データである顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて、不適切であるとのこと指摘を受けました。 このご指摘に対しては、その後の審査会合において記載の変更に至った経緯や理由、資料作成業務の改善点などを説明した結果、適合性確認審査が継続されることとなり、また審査とは別に、原因分析の内容や業務の改善状況について、原因調査分析に係る検査(品質保証に係る検査)の中で確認していくこととなりました。現在、品質保証に係る検査において内容確認が進められており、今後、報告書として取りまとめまいります。 敷地内破砕帯評価については、次回審査会合に向けた資料の説明を開始しており、また、地震動評価(地震の揺れ)については審査資料の準備を鋭意行っております。今後、準備が整い次第、適合性確認審査を再開いたしたいと考えております。 当社は、引き続き、品質保証に係る検査ならびに適合性確認審査について、真摯に対応してまいります。

2. 敦賀発電所3, 4号機準備工事の状況(2021年6月1日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



建設予定地の状況(2021年5月18日撮影)

3. トピックス

(1) 原子力事業所災害対策支援拠点設営訓練を実施

当社は毎年、敦賀発電所 原子力事業者防災業務計画に基づく訓練として原子力事業所災害対策支援拠点（以下、「後方支援拠点」という）の実動訓練※を敦賀総合研修センターで実施しています。

今回は、東京での新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえて、5月14日、敦賀地区における社員によりに実施しました。

今回の訓練では、後方支援拠点の設営としてエアテント・クイックテントの設置、テント内への資機材の設置・動作確認、スクリーニング（測定器を用いた体表面への放射性物質の付着の確認）などを行い、手順について確認しました。

当社は、これからも、万が一の原子力災害発生時に適切に対応できるよう、継続的に訓練を行ってまいります。



原子力事業所災害対策支援拠点

※この訓練は発電所を支援するため、当社本店（東京）総合災害対策本部の原子力緊急時支援班の社員により実施するものです。



要員点呼・実動訓練の手順確認



クイックテントの設営



スクリーニング

(2) 2021年度 熱中症対策について

敦賀発電所では、熱中症のリスクが高まる5月から9月末までの熱中症警戒期間において、熱中症対策として暑熱作業に関する構内ルールおよび熱中症予防三原則の遵守に係わる啓蒙活動や給水所の開設、保冷剤の貸出しなどの取り組みを行っています（給水所の開設は10月末まで）。

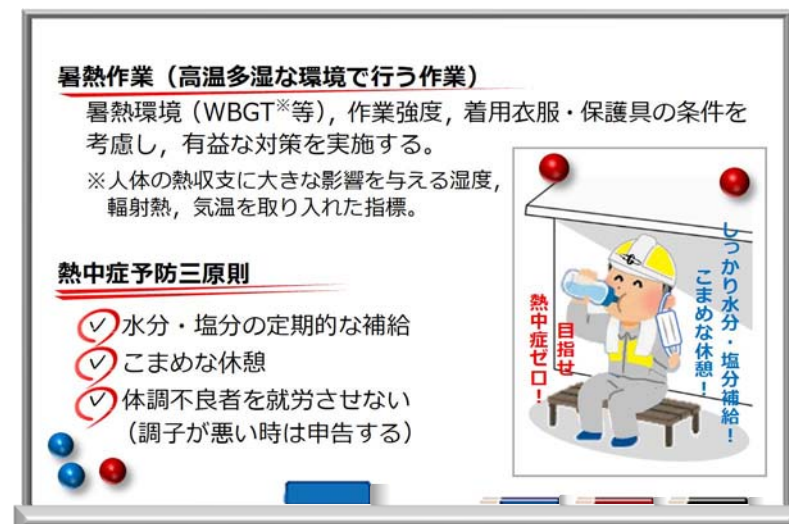
この活動の一環として5月17日に、当社、関係会社および協力会社の社員を対象に、外部講師を招いて「熱中症予防指導員研修」を開催しました。

研修では、24名が参加し、職場における熱中症の特徴や熱中症が発生する仕組みと症状などの基本的知識、熱中症予防方法としての作業環境管理や健康管理、熱中症の応急措置などについて学習しました。

敦賀発電所では、新型コロナウイルス感染予防対策とも両立のうえ、熱中症ゼロを目指します。



熱中症予防指導員研修の様子



(3) 防火対策力量向上教育を実施

敦賀発電所では、火災撲滅に向けた活動の一つとして、工事管理における防火に対する力量を向上させるため、定期的に教育を実施しています。

5月20日、当社、関係会社および協力会社の社員を対象に、火気作業の防火対策、火気養生の良好事例、消防法の概要などについて教育を行いました。

参加者からは、「火気作業時の注意点を再認識できた」、「定期的に受講している。毎回気づきがあり、今回も受講してよかった」などの感想があり、一人ひとりが危機意識を持って火災の発生防止に努めることを再認識し、防火に関する意識を高めました。

今後も、発電所の安全確保のため、現場に即した教育を継続的にを行い、更なる防火意識と防火対策力量の向上に努めてまいります。



防火対策力量向上教育の様子



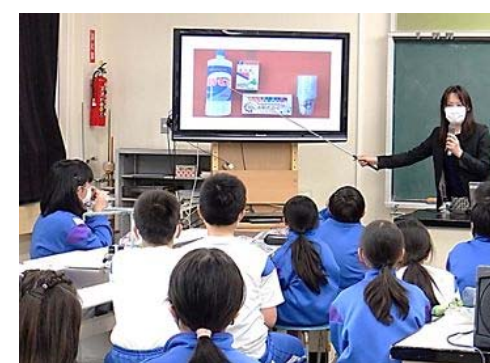
4. 次世代層への教育支援活動

・小学校への出前授業を実施

「出前授業」は、次世代層に科学やエネルギーに興味を持ってもらうため、福井県内の学校に当社社員が出向いて理科の授業を行う活動です。5月13日、敦賀市立松原小学校科学クラブの皆さんを対象に「スライムを作ろう」の授業を行いました。スライムとは、ぷよぷよとした不思議な触感の物質で、洗剤や防腐剤に使われている鉱物の一種であるホウ砂と、水のり（合成樹脂の成分）を混ぜることでゼリー状になる性質を利用して作られており、身近なもので簡単に楽しく化学反応を体験することができます。

児童の皆さんは、水で溶かしたホウ砂液と水のり液を慎重に混ぜながら、変化する形状に興味津々のようでした。

当社はこれからも、次世代層への科学・エネルギー教育について、さまざまな支援を行ってまいります。



出前授業の様子
(敦賀市立松原小学校科学クラブ)



ホウ砂液と水のり液を混ぜます



スライムのできあがり

5. 主な報道発表 (2021年5月7日以降)



◀こちらから当社ホームページをご覧ください

詳細な内容は当社ホームページ <http://www.japc.co.jp> をご覧ください。

-

主な報道発表はありません